

漢字音読名人

《3年》

國	語	算	數	理	科	社	會
圖	工	算	學	體	育	給	食

1学期

名前	
----	--

光村配列

「漢字音読名人」の進め方

表のページは練習に使用します。裏のページは、友達との聞き合いに使用します。
一漢字ずつ、読めるようにしていきます。

①まず、表のページで読む練習をします。

・何度も声に出して読み、――を引いた漢字のふりがなを見ないで読めるようになるまで練習します。
・線の引いていない漢字は上の学年で習う漢字ですから、ふりがなを見ながら読んでもいいです。

★意味の分からない言葉があったら、必ず先生に聞きましょう。

②線を引いた漢字が、ふりがなを見なくても読めるようになったら裏のページでチャレンジします。

・友達に聞いてもらい、正しく読めていたら、サインをしてもらい、次の漢字に進みます。

・先生が決めたゴールの漢字まで進んだら、元にもどって、二回目にチャレンジ。

・三回目もゴールまで進み、サインが三つそろったら、「音読名人」です。次のゴールをめざしてがんばりましょう。

言言詩詩

言葉短く書くのが詩



□国語の時間に詩を書く。

□中国の詩を「漢詩」という。



何山江
日春青
是看花
歸又欲
年過然
白

□ 学級で

詩集を作る。



二 一廿艸苒苒苒苒華葉

秋あきになり

葉はが落おちる木きは落葉樹らくようじゆ



□ 話し言葉と書き言葉。

□ もみじの葉はっぱが紅葉こうようする。



□とがった葉の木は針葉樹。



3

丁
刁
习
刃
习
习
习
习
习
習
習

木曜日 もくようび

ぼくは習字を習しゅうじつてならる



□ 習ならうより慣なれろ。
(慣かんようく用句)

□ 水泳すいえいの練習れんしゅうをしている。



□ 漢字かんじの学習がくしゅうをする。



1

サイン

詩

感じたこと

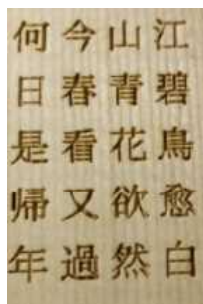
言葉短く書くのが詩



□国語の時間に詩を書く。



□中国の詩を「漢詩」という。



□学級で

詩集を作る。



2

サイン

葉

秋になり

葉が落ちる木は落葉樹



□話し言葉と書き言葉。



□もみじの葉っぱが紅葉する。



□とがった葉の木は針葉樹。



3

サイン

習

木曜日

ぼくは習字を習ってる



□習うより慣れる。(慣用句)



□水泳の練習をしている。



□漢字の学習をする。



4

、ソシヤ生茅茅着着

着

宇宙服うちゅうふく着てきて月面に着陸だげつめん ちゃくりく□図書館としょかんは静かしずかで落ち着くおちつく。□お正月しょうがつに着物きものを着るきる。□一着いっちょやくでゴールした。

5

マタマタ登登登

登

エベレスト

八十歳はちじゅうさいで登った登山家のぼ とざんか□サルは木登りきのぼが上手だじょうず。□毎日まいにち、元氣げんきに登校とうこうする。□物語ものがたりの登場人物とうじょうじんぶつ。

6

、ソシヤ生茅茅物物

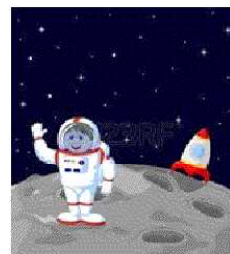
物

動物どうぶつも植物しよくぶつも皆みな生き物い ものだ□外そとで大きな物音ものおとがした。□物語ものがたりの登場人物とうじょうじんぶつ。□不明ふめいな物体ぶつたいが空そらを飛ぶと。

4

サイン

着

宇宙服うちゅうふくを着て月面に着陸りくだ図書館は静しずかで落おちち着く。

お正月に着物を着る。



一着でゴールした。



5

サイン

登

エベレスト

八十歳さいで

登った登山家



サルは木登りが上手だ。



毎日、元気に登校する。



物語の登場人物。



6

サイン

物

動物も植物も

皆みな生き物だ

外で大きな物音がした。



物語の登場人物。



不明な物体が

空を飛ぶ。



7

持ち持ち持ち持ち

持

持つと待つ

しっかり見ないと間違える


☐ 両方の手で荷物を持つ。

☐ 晴れた朝は気持ちがいい。

☐ 体育の時間に持久走をした。


8

旅旅旅旅旅

旅

旅に出て

大きな旅館に泊まったよ


☐ 長い旅を終えて帰る。

☐ 旅客機で外国に旅立つ。

☐ 家族旅行は楽しいな。


9

く々々始始

始

さあ開始

決勝戦の始まりだ


☐ これから朝の会を始めます。

☐ 始業式で校歌を歌う。

☐ 始発電車に乗って

仕事に行く。



7

サイン

持

持つと待つ

しっかり見ないと間違える



□両方の手で荷物を持つ。



□晴れた朝は気持ちがいい。



□体育の時間に持久走をした。



8

サイン

旅

旅に出て

大きな旅館に泊まったよ



□長い旅を終えて帰る。



□旅客機で外国に旅立つ。



□家族旅行は楽しいな。



9

サイン

始

さあ開始

決勝戦の始まりだ



□これから朝の会を始めます。



□始業式で校歌を歌う。



□始発電車に乗って

仕事に行く。



10

ノイイヤ竹佳進進

進

にぎやかに進すすむ
音楽隊おんがくたいの行進こうしん
☐ 辺あたりを見回みまわしながら進すすむ。

☐ 兄あにが中ちゅう学がく校こうに進学しんがくした。

☐ 話はなし合あいの進しん行こうは司し会かいの仕し事ごと。


11

ニニニ台車重動動

動

のっそりと動うごく動物どうぶつ
ナマケモノ
☐ 大おおきな岩いわを動うごかす。

☐ 好すきな運うん動どうはサツカーです。

☐ 係かかり活かつ動どうで
学級遊がっきゆうあそびを計けい画かくする。


12

ニニニ河深深深

深

深ふかい海うみの底そこにいる
深しん海かい魚ぎょ
☐ 深ふかい森もりの中なかをさまよう。

☐ 一ひと雨あめごとに秋あきも深ふかまる。

☐ 深しん夜やまで勉べん強きょうしている姉あね。


10

進

にぎやかに進む

音楽隊の行進


☐ 辺りを見回しながら進む。

☐ 兄が中学校に進学した。

☐ 話し合いの進行は司会の仕事。


11

動

のっそりと動く動物

ナマケモノ


☐ 大きな岩を動かす。

☐ 好きな運動はサッカーです。

☐ 係活動で

学級遊びを計画する。



12

深

深い海の底にいる

深海魚


☐ 深い森の中をさまよう。

☐ 一雨ごとに秋も深まる。

☐ 深夜まで勉強している姉。


13

十オオオオ様様様

様

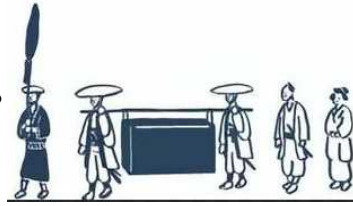
国により

生活の様子は様々だ



□ お殿様の行列。

□ 神社で神様をお願いする。



□ 近頃あの子の様子がおかしい。



14

一アア面面

面

鬼の面

つけて豆まき 節分だ



□ 雨で地面が一面に水びたし。

□ 入院している友達に面会する。



□ 毎朝洗面所で顔を洗う。



15

入今全食食館館館

館

体育館

みんな

集まり 全校集会



□ 本日は

図書館の休館日。



□ 家族で旅館に泊まる。

□ 水族館でペンギンを見た。



13

サイン

様

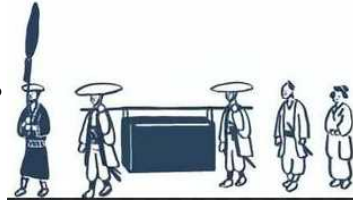
国により

生活の様子は様々だ



□ お殿様の行列。

□ 神社で神様をお願いする。



□ 近頃あの子の様子がおかしい。



14

サイン

面

鬼の面

つけて豆まき
節分だ

□ 雨で地面が一面に水びたし。



□ 入院している友達に面会する。



□ 毎朝洗面所で顔を洗う。



15

サイン

館

体育館 みんな

集まり 全校集会

□ 本日は
図書館の休館日。

□ 家族で旅館に泊まる。



□ 水族館でペンギンを見た。

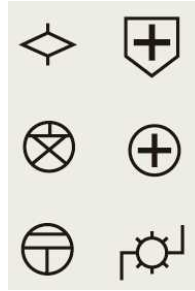


号

号令ごうれいをかけて整列せいれつ
運動会うんどうかい



地図ちずにはいろんな記号きごうがある。



信号しんごうの赤あかは止とまれの合図あいずです。



僕ぼくの出席番号しゅつせきばんごうは九番きゅうばんだ。



調

調査ちようさして

調べたことを記録きろくする



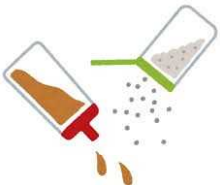
虫むしの名前なまえを図鑑ずかんで調べた。



体からだを休やすめて体調たいちようを整ととのえる。



塩しおや砂糖さとうは調味料ちようみりようという。



使

使用しようした

紙かみを使つかってリサイクル



筆ふでを使つかって字じを書かく。



道具どうぐの使つかい方かたを教おしえてもらう。



赤あかちゃんの寝顔ねがおは

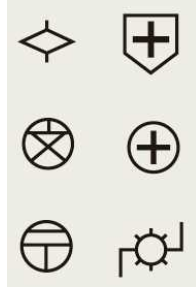
天使てんしのようだ。



16

サイン

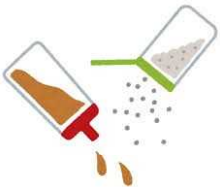
号

号_{れい}令_{れい}を_をか_かけ_けて_て整_{せい}列_{れい}運_{うん}動_{どう}会_{かい}□地_ち図_ずに_には_はい_いろ_ろん_んな_な記_き号_{ごう}が_があ_ある_る。□信_{しん}号_{ごう}の_の赤_{しやう}は_は止_とま_まれ_れの_の合_が図_ずで_です_す。□僕_{ぼく}の_の出_{しゅつ}席_{せき}番_{ばん}号_{ごう}は_は九_く番_{ばん}だ_だ。

17

サイン

調

調_さ査_さし_して_て調_{てう}べ_べた_たこ_こと_とを_を記_き録_{ろく}す_する_る□虫_{むし}の_の名_な前_{ぜん}を_を図_ず鑑_{かん}で_で調_{てう}べ_べた_た。□体_{てい}を_を休_きめ_めて_て体_{てい}調_{てう}を_を整_{せい}え_える_る。□塩_{しお}や_や砂_さ糖_{とう}は_は調_{てう}味_み料_{りょう}と_とい_いう_う。

18

サイン

使

使_し用_{よう}し_した_た紙_しを_を使_しっ_てリ_りサ_さイ_いク_くル_る□筆_{ふで}を_を使_しっ_て字_じを_を書_かく_く。□道_{だう}具_ぐの_の使_しい_い方_{ほう}を_を教_{おし}え_えて_ても_もら_らう_う。□赤_{あか}ち_ちゃ_ゃん_んの_の寝_ね顔_{がん}は_は天_{てん}使_しの_のよ_よう_うだ_だ。

問

難問だ

先生に問いやつと分かった



□ 集まる場所を問い合わせる。



□ 問屋さんから

商品

仕入れる。



□ 次の質問に答えましょう。



意

手を挙げて

自分の意見を言いました



□ 辞典を使って意味を調べる。



□ 自動車に注意して歩く。



□ 宿題が意外に早く終わった。



味

味覚とは

舌で感じる味のこ



□ よく味わって食べましょう。



□ 漢字は訓読みで意味が分かる。



□ 敵と味方に分かれて、いざ、勝負。



問

難問^{なんもん}だ

先生に問い やつと分かった



□集まる場所を問い合わせる。

□問屋さんから

商品

仕入れる。



□次の質問に答えましょう。



意

手^てを挙^あげて

自分の意見を言いましょう

□辞典^{じてん}を使^{つか}って意味^{いみ}を調^{しら}べる。□自動車に注意^{ちゅうい}して歩^{ある}く。□宿題^{しゅくだい}が意外^{がいがい}に早^{はや}く終^はわった。

味

味覚^{あじかく}とは舌^{した}で感^{かん}じる味^{あじ}のこと□よく味^{あじ}わって食^くべましょう。□漢字^{かんじ}は訓^{くん}読みで意^い味^みが分^わかる。□敵^{てき}と味^{あじ}方^{かた}に分^わかれて、いざ、勝^{かち}負^ひ。

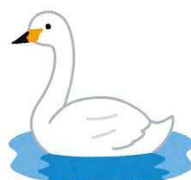
湖

日本で一番

大きい湖は琵琶湖



湖のほとりで泳ぐ白鳥。



湖岸にヨシが生えている。



湖面が朝日で光る。



漢

漢という国の字だから

「漢字」だよ



自分の名前を漢字で書く。

山田太郎

中国の詩は漢詩。



百・千・万などは漢数字。

二万五千六百八十四

由

遅刻した理由は

夜更かし 朝寝坊



何をしようと君の自由だ。

土地の名前の由来を調べる。



休んだ理由を先生に言う。



京都



22

サイン

湖

日本で一番

大きい湖は琵琶湖



□湖のほとりで泳ぐ白鳥。



□湖岸にヨシが生えている。



□湖面が朝日で光る。



23

サイン

漢

漢という国の字だから

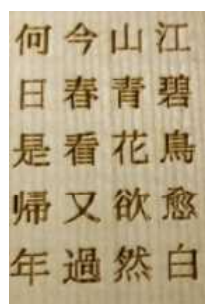
「漢字」だよ



□自分の名前を漢字で書く。

山田太郎

□中国の詩は漢詩。



□百・千・万などは漢数字。

二万五千六百八十四

24

サイン

由

遅刻した理由は

夜更かし 朝寝坊



□何をしようと君の自由だ。

□土地の名前の由来を調べる。

きょうと
京都

□休んだ理由を先生に言う。



汨汨温温

温

温泉おんせんにはい入いつて
体からだをあたた温あめる



□蛇口から温かいお湯が出る。



□あの人^{ひと}は心^{こころ}の温^{あた}かい人^{ひと}だ。



□ 体温計で体温を測る。



汨 汨 汨 汨 汨 汨

酒

日本酒は
こめ
にほんしゅ
米から造るお酒です
つく
さけ



□ 酒屋さんでお酒を買う。



□飲酒運転は禁止だ。



□あま酒は子どもでも飲める。



日日早早是是是題題

題

算数の
問題
解けた
うれしいな



□算数の文章題は苦手だ。



□ 帰かえったらすぐ宿題しゅくだいをする。



□ 作文に題名をつける。



25

サイン

温

温泉^{せん}に入^いって
体^てを温^ぬめる



蛇^{じゃ}口^{くち}から温^ぬかいお湯^ゆが出^でる。



あの人^{ひと}は心^{こころ}の温^ぬかい人^{ひと}だ。



体^{てい}温^{おん}計^{けい}で体^{てい}温^{おん}を測^{はか}る。



26

サイン

酒

日本^{にっぽん}酒^{しゅ}は
米^{こめ}から造^{つく}るお酒^{しゅ}です



酒^{しゅ}屋^やさんで酒^{しゅ}を^を買^かう。



飲^の酒^{しゅ}運^{うん}転^{てん}は禁^{きん}止^しだ。



あま酒^{あましゅ}は子^こどもでも飲^のめ^るる。



27

サイン

題

算^{さん}数^{すう}の
問^{もん}題^{だい}解^とけ^たう^れし^いな



算^{さん}数^{すう}の文^{ぶん}章^{しょう}題^{だい}は苦^く手^てだ。



帰^{かえ}っ^たら^らす^ぐ宿^{しゅく}題^{だい}を^をす^る。



作^{さく}文^{ぶん}に題^{だい}名^{めい}を^をつ^ける。



発

さあ出_で発_{はつ}発_{はつ}車_{くるま}オーライ 遠_{とほ}足_{あし}だ

サイン

□山_{さん}は「サン」とも発_{はつ}音_{おん}する。富士_{ふじ}山_{さん}□新_{しん}しい薬_{くすり}を開_{ひら}発_{はつ}した。□ピ_ぴア_あノの発_{はつ}表_{ひょう}会_{かい}に出_でる。

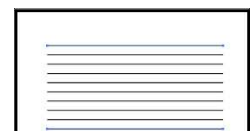
章

文_{ぶん}章_{しょう}を 書_かくのは僕_{ぼく}の得_{とく}意_い技_{わざ}だ

サイン

□校_{がう}章_{しょう}の入_いった旗_{はた}。□文_{ぶん}章_{しょう}をよ_よく読_よんで考_{かん}えよう。□腕_{わん}章_{しょう}をつけたリ_りーダ_ー。

平

平_{へい}らな紙_しに平_{へい}行_{ぎょう}線_{せん}を 書_かく

サイン

□地_ち面_{めん}を平_{へい}らにする。□平_{へい}たい箱_{はこ}を重_{おも}ねる。□雨_{あめ}にぬれても平_{へい}気_きな顔_{かお}。

決

対決たいけつどちらが強いつよか決きめようぜ

□ 決きまったことはきちんと守まもる。

□ 多た数すう決けつで決きめる。

□ 毎まい日にち練れん習しゆするぞと決けつ心しんした。



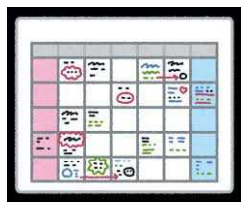
事

大だい事じな事ことよく考かんえて決きめましよう

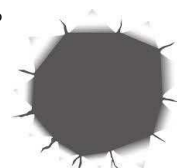
□ つまらない事ことは気きにするな。

□ 毎まい日にちいいろろんな出で来き事ごとがある。

□ 交こう通つう事じ故こに注ちゅう意いしよう。



落

岩いわが落ら下つか落おちたところに穴あなが開あく

□ 落おとし穴あなに落おちた。

□ 面おも白しろい落らく語ごを聞きく。

□ 黒こく板ばんの落らく書がきを消けす。



31

サイン

決

対決し

どちらが強いかわかれば決めるようぜ


☐ 決まったことはきちんと守る。

☐ 多数決で決める。

☐ 毎日練習するぞと決心した。


32

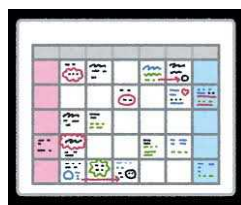
サイン

事

大事な事

よく考えて決めましょう


☐ つまらない事は気にするな。

☐ 毎日いろんな出来事がある。

☐ 交通事故に注意しよう。

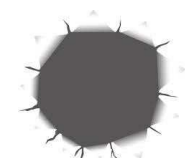

33

サイン

落

岩が落下

落ちたところに穴が開く


☐ 落とし穴に落ちた。

☐ 面白い落語を聞く。

☐ 黒板の落書きを消す。


相

困こまったな相談そうだんできる相手あいてがない□ 兄あにを相手あいてにキャッチボール。□ 明日あすは相当そうとう暑あつくなるでしょう。□ 事件じけんの真相しんそうが明あきらになる。

洋

太平洋たいへいようをヨットで横断おうだん□ 新あたしい洋服ようふくを着きる。□ 西洋料理せいようりょうりを「洋食ようしょく」という。□ 和室わしつも洋室ようしつもある家いえ。

服

よそ行ゆきの服ふくに着替きえてお出でかけよ□ 洋服ようふくを作つくるための服地ふくじ。□ 不ふ服ふくを言いってはいけない。□ 薬くすりを飲のむことを服薬ふくやくという。

相

困こまったな相談さうだんできる相手あいてがない□兄あにを相手あいてにキャッチボール。□明日あしたは相当さうたう暑あつくなるでしょう。□事件けんの真相しんさうが明らかになる。

洋

太平洋たいへいようをヨットで横断だん□新しい洋服ようふくを着る。□西洋料理りようりを「洋食」という。□和室わむろも洋室ようむろもある家。

服

よそ行きよそぎの服ふくに着替かえてお出でかけよ□洋服ようふくを作るための服地ふくぢ。□不ふ服ふくを言いってはいけない。□薬くすりを飲のむことを服薬ふくやくという。

次

次は何？

それは次回のお楽しみ



次の時間は音楽だ。

長男次男三男、

仲良し三兄弟。

電話を取り次ぐ。



所

この住所

友達住んでいる所



台所で料理を作る母。



人には長所と短所がある。



使ったら元の場所へ返すこと。



県

滋賀県で

有名なものといえば琵琶湖だ



みかんがおいしい和歌山県。



県道沿いにある道の駅に人が集まる。



都道府県の数全部で四十七。



37

サイン

次

次は何？

それは次回のお楽しみ



□ 次の時間は音楽だ。

□ 長男次男三男、

仲良し三兄弟。

□ 電話を取り次ぐ。



38

サイン

所

この住所

友達住んでいる所



□ 台所で料理を作る母。

□ 人には長所と短所がある。

□ 使ったら元の場所へ返すこと。



39

サイン

県

滋賀県で

有名なものといえば琵琶湖だ



□ みかんがおいしい和歌山県。

□ 県道沿いにある道の駅に

人が集まる。

□ 都道府県の数全部で四十七。



有

有料の入場料が
無料になった
有り難い

無料!

□ 買い物で有り金を使い果たす。



□ 有料道路を車で走る。



□ テレビでよく見る有名人。



氷

「冰山」は
海に浮かんだ氷のかたまり



□ 寒くて池に氷が張った。



□ 暑い夏はかき氷がうまい。



□ 流水が岸に流れ着く。



秒

十秒を切り
日本新記録
百メートル走で



□ 一分は六十秒です。



□ 光は秒速三十万キロメートル。



□ 時計の長針、短針、秒針。



40

サイン

有

有料の入場料が
無料になった有り難い

無料!

買い物で有り金を使い果たす。



有料道路を車で走る。



テレビでよく見る有名人。



41

サイン

氷

「冰山」は
海に浮かんだ氷のかたまり



寒くて池に氷が張った。



暑い夏はかき氷がうまい。



流水が岸に流れ着く。



42

サイン

秒

百メートル走で
十秒を切り
日本新記録



一分は六十秒です。



光は秒速三十万キロメートル。



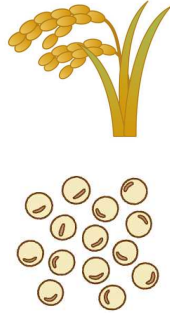
時計の長針、短針、秒針。



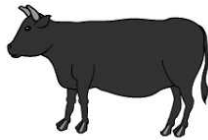
農

米・野菜さい作る仕事しごとが農業だ

□麦や豆の農作物。



□昔の農家には牛がいた。



□農業をする人が少なくなった。



仕

王様に

仕える家来の仕事



□その仕事、早く仕上げて帰ろうよ。

□けんかの仕返しはやめて仲直り。なか

□鳥の羽の仕組みを調べる。



球

投げた球

バットで打つのが野球です

□転がってきた球を蹴った。け

□毎日野球の練習をする。

□地球儀で日本を見つける。ぎ

局

薬局で薬を買い
郵便局で切手を買った



放送局のアナウンサー。



苦しい局面を開する。



局地的に大雨が降る。



全

全力を尽くした
けれど 全く歯が立たず



夏休みの宿題は全て終わった。



部分を見ずに全体を見よう。



春の全国交通安全運動が始まる。



遊

友達と

遊具で遊んだ昼休み



運動場の砂場で遊ぶ。



遊園地に連れて行ってもらった。



遊び半分で掃除を

してはいけない。



局

薬局で薬を買い

郵便局で切手を買った



放送局のアナウンサー。



苦しい局面を開く。



局地的に大雨が降る。



全

全力を尽くした

けれど全く歯が立たず



夏休みの宿題は全て終わった。



部分を見ずに全体を見よう。



春の全国交通安全運動が

始まる。



遊

友達と

遊具で遊んだ昼休み



運動場の砂場で遊ぶ。



遊園地に連れて行ってもらった。



遊び半分で掃除を

してはいけない。



表

いちねん
きおん
へんか
を
ひよう
あらわ
表に表す



かんじ
つか
ぶんしやう
か
あらわ
漢字を使い文章に書き表す。



かみ
おもて
うら
紙の表と裏。



ひよう
せいり
わ
表に整理するとよく分かる。



昔

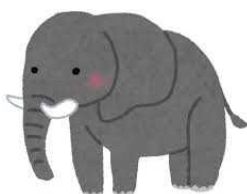
むかし
つた
はなし
むかしはなし
昔から伝わる話が
昔話



いま
むかし
せいかつ
くら
今と昔の生活を比べる。



おおむかし
にほん
ぞう
大昔は日本にも象がいた。



むかし
かたぎ
むかし
昔気質で

しごと
だいく
いい仕事をする大工さん。



世

よ
なか
こと
よ
なか
こと
世の中の事を
知らない世間知らず



きゆうじつさい
おじいさんは九十歳で

よ
さ
世を去った。



かあ
かわり
あか
お母さんの代わりに
赤ちゃんの世話をする。

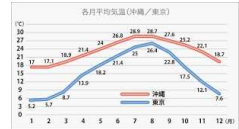


いま
にじゅういっせいき
じだい
今は二十一世紀の時代です。



表

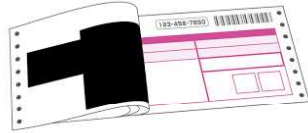
一年の気温の変化を
表に表す



□漢字を使い文章に書き表す。



□紙の表と裏。



□表に整理するとよく分かる。



昔

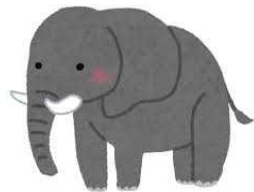
昔から伝わる話が
昔話



□今と昔の生活を比べる。



□大昔は日本にも象がいた。



□昔気質で

いい仕事をする大工さん。



世

世の中の事を
知らない世間知らず



□おじいさんは九十歳で
世を去った。



□お母さんの代わりに
赤ちゃんの世話をする。



□今は二十一世紀の時代です。



界

世界の人々みな仲間
心に境界は無い



□ 世界地図で
中国を探す。

中国を探す。



□ 隣の家との境界。



□ 自分の限界まで
全力投球。



速

速い速度で
車が走る高速道路



□ 時間が無いので足を速める。



□ 風速四十メートルの強い風。



□ 高速道路は時速八十キロ以上。



横

横断歩道
横で信号 変わるのを待つ



□ ノートの横に筆箱を置く。



□ 道路を横切る時は
車に気を付けてね。



□ あいつはずるい横着なやつだ。



界

世界の人々みな仲間
心に境界は無い



□世界地図で
中国を探す。

中国を探す。



□隣の家との境界。



□自分の限界まで
全力投球。



速

速い速度で
車が走る高速道路



□時間が無いので足を速める。



□風速四十メートルの強い風。



□高速道路は時速八十キロ以上。



横

横断歩道
横で信号
変わるのを待つ



□ノートの横に筆箱を置く。



□道路を横切る時は
車に気を付けてね。



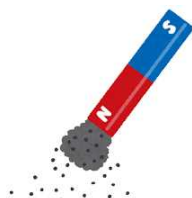
□あいつはずるい横着なやつだ。



指

指揮しきをする人の指先ゆびさきよく見て歌う親指おやゆび・小指こゆび・人指し指ひとさしゆび先生の指示しじを守まもって見学けんがくする。ゴールを目標めざして走はしる。

鉄

鉄道の線路せんろは鉄てつでできている鉄棒てつぼうで逆上さかあがりをする。磁石じしやくで砂鉄さてつを集あつめる。鉄板てつばんを使つかって焼やきそばを作つくる。

安

安らかな寝顔ねがおをみ安心あんしんするこのお店みせの品物しなものは安やすい。底そこが広ひろいと安定あんていする。安全運転あんぜんうんてんをするお父さんとうさん。

指

指揮きをする

人の指先よく見て歌う



サイン

□親指・小指・人指し指。



□先生の指示じを守って見学する。



□ゴールを目指して走る。



鉄

鉄道の線路は

鉄でできている

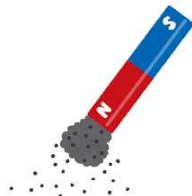


サイン

□鉄棒ぼうで逆上さかがりをする。



□磁石じで砂鉄さを集める。



□鉄板てつばんを使って焼きそばを作る。



安

安らかな寝顔ねを見て

安心する



サイン

□このお店の品物は安い。



□底そこが広いと安定する。



□安全運転あんぜんうんてんをするお父さん。



定

ねらい定め

安定した動作で弓を射る



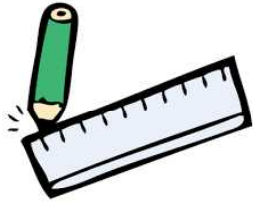
□ 夕方になって風が定まった。



□ 昼食に天ぷら定食を食べた。



□ 定規で線を引く。



運

運転手

車で荷物を運びます



□ 船で石油を運ぶ。



□ 柱で頭を打つなんて、今日は運が悪いな。



□ 運動会の開会式。



予

天気予報では

明日は晴れ



□ 明日の予定をメモ帳に書く。

(*「明日」は「あした」とも読む)



□ 予習も大事です。



□ 予想外の大雪になった。



58

定

ねらい定め

安定した動作で弓を射る



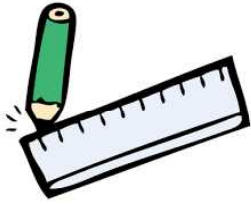
□夕方になって風が定まった。



□昼食に天ぷら定食を食べた。



□定規で線を引く。



59

運

運転手

車で荷物を運びます



□船で石油を運ぶ。



□柱で頭を打つなんて、今日は運が悪いな。



□運動会の開会式。



60

予

天気予報では

明日は晴れ



□明日の予定をメモ帳に書く。



□予習も大事です。



□予想外の大雪になった。



61

送

送

電気を送る

送電線



□手紙を送ったら

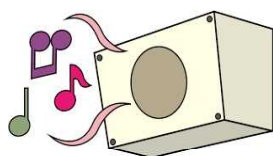
返事が来た。



□駅まで友達を見送る。



□お昼の校内放送を聞く。



62

住

住

集合住宅に

家族五人で住む



□この家に住んでいる住人。



□葉書に住所と名前を書く。



□昔からこの町に定住している。



63

具

具

明日は遠足

雨具の用意も忘れずに



□絵の具で色をつける。



□はさみ・カッターなどの道具。



□体の具合が悪いので

病院に行った。



61

サイン

送

電気を送る

送電線



□手紙を送ったら

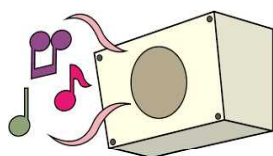
返事が来た。



□駅まで友達を見送る。



□お昼の校内放送を聞く。



62

サイン

住

集合住宅たくに

家族五人で住む



□この家に住んでいる住人。



□葉書に住所と名前を書く。



□昔からこの町に定住している。



63

サイン

具

明日は遠足

雨具の用意も忘れずにわす

□絵の具で色をつける。



□はさみ・カッターなどの道具。



□体の具合が悪いので

病院に行った。



拾

落とし物拾って
届けた交番へ



砂の中から貝を拾い上げる。



捨てる神あれば拾う神あり。



昔は五十を五拾と書いた。



向

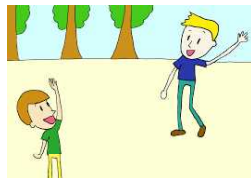
この方向
進めば向こうの山に着く



海に向かって坂を下る。



向こうから外国人がやってきた。



毎日走って体力が向上した。



坂

坂道は
登坂車線を
行くダンプ



急な坂道を上っていく。



急な下り坂で転ぶ。



坂の途中で休む。



64

サイン

拾

落とし物拾って
届けた交番へ



砂の中から貝を拾い上げる。



捨てる神あれば拾う神あり。



昔は五十を五拾と書いた。



65

サイン

向

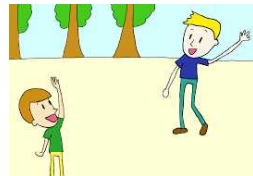
この方向
進めば向こうの山に着く



海に向かって坂を下る。



向こうから外国人がやってきた。



毎日走って体力が向上した。



66

サイン

坂

登坂車線を
行くダンプ

坂道は

登坂車線
SLOWER TRAFFIC



急な坂道を上っていく。



急な下り坂で転ぶ。



坂の途中で休む。



ノナヲヨヲ非非悲

悲

かな
悲しい悲劇の物語

ロミオとジュリエット



あいけん
愛犬の死を悲しむ。

けむし
毛虫を見て悲鳴を上げた。



ひがん
悲願の初優勝。



くろ糸紅緑

緑

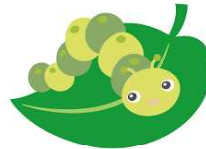
しんりよく
新緑の

みどり
緑の葉っぱはきれいだな



あおむし
青虫は緑色をしている。

りよくちや
緑茶を飲む。



さばく
砂漠に木を植えて緑化する。

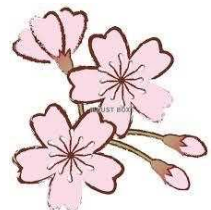


一門門門開

開

かい
開花とは

はな
花のつぼみが開くこと



ちい
小さな花屋を開く。



きようしつ
教室の窓を開ける。



うんどうかい
運動会の開会式が行われる。



67

悲

悲しい悲劇の物語

ロミオとジュリエット



□愛犬の死を悲しむ。



□毛虫を見て悲鳴を上げた。



□悲願の初優勝。



68

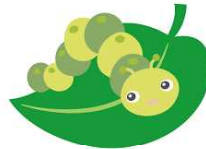
緑

新緑の

緑の葉っぱきれいだな



□青虫は緑色をしている。



□緑茶を飲む。



□砂漠に木を植えて緑化する。



69

開

開花とは

花のつぼみが開くこと



□小さな花屋を開く。



□教室の窓を開ける。



□運動会の開会式が行われる。



岸

波が岸辺に打ち寄せて
岸壁を離れる船



□ 向こう岸まで泳ごう。



□ 海岸の岩場で遊ぶ。

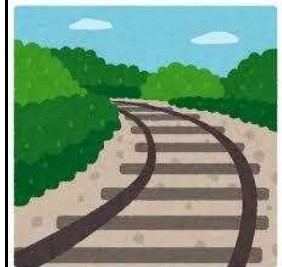


□ 湖岸で魚釣りをしている。



路

線路は続くよ
どこまでも



□ 雪で路面が真っ白だ。



□ 通学路を通過して登校する。



□ 仕事を終えて
家路に就く父。

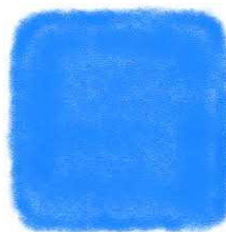


感

感想文
感じたことを書けばいい



□ 青は寒く感じる色だ。



□ 物語を読んで感動した。



□ 熱心に取り組むので感心した。



70

岸

波が岸^べに打ち寄せて
岸壁^{べき}を離^{はな}れる船



□向こう岸まで泳ごう。



□海岸の岩場で遊ぶ。



□湖岸で魚釣りをしている。



71

路

線路は続^つくよ
どこまでも



□雪で路面が真っ白だ。



□通学路を通って登校する。



□仕事を終えて
家路に就く父。



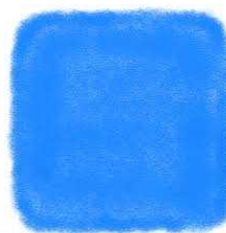
72

感

感想文
感じたことを書けばいい



□青は寒く感じる色だ。



□物語を読んで感動した。



□熱心^{ねっ}に取り組むので感心^{かんしん}した。



対

三対三で

試合は引き分け



君とぼくは対等だ。



意見が対立しても対話で解決。



鳥には

一對の翼がある。



区

善悪の区別は

しっかりつけようね



勉強に区切りをつけて遊ぶ。



地区別児童会で話し合う。



地域の区切り、市区町村。



陽

太陽が海から昇る

まぶしい陽光



太陽がキラキラと照りつける。



地球は太陽の回りを

回っている。



妹は陽気な性格だ。



対

三対三で

試合は引き分け



□君とぼくは対等だ。



□意見が対立しても対話で解決。



□鳥には

一対の翼がある。



区

善悪の区別は

しっかりつけようね



□勉強に区切りをつけて遊ぶ。



□地区別児童会で話し合う。



□地域の区切り、市区町村。



陽

太陽が海から昇る

まぶしい陽光



□太陽がギラギラと照りつける。



□地球は太陽の回りを

回っている。



□妹は陽気な性格だ。



整

整理して

机の上が整った



□ 服装をきちんと整える。



□ 0・1・2・3などを整数という。



□ 古新聞を全部整理した。



部

台風で

部屋の一部が雨漏りしてる



□ 姉はテニス部に入っている。



□ 左右二つの部分に分ける。



□ 勉強部屋に入る。



泳

水泳で

得意な泳ぎは平泳ぎ



□ 魚が池の中で泳いでいる。



□ 二時間目はプールで泳ぐ予定。



□ 水泳は大好きだ。



整

整理して

机の上が整った



□ 服装をきちんと整える。



□ 0・1・2・3などを整数という。



□ 古新聞を全部整理した。



部

台風で

部屋の一部分が雨漏りしてる



□ 姉はテニス部に入っている。



□ 左右二つの部分に分ける。



□ 勉強部屋に入る。



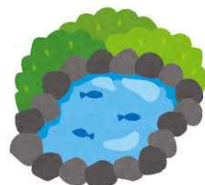
泳

水泳で

得意な泳ぎは平泳ぎ



□ 魚が池の中で泳いでいる。



□ 二時間目はプールで泳ぐ予定。



□ 水泳は大好きだ。



練

粉こなを練ねり

うどん作りの練習だ



糸 紵 紶 紷 紸 紹 紺 紻 紽 紿

□ みこしの行列がぎょうれつ

町内を練り歩く。



□ 笛ふえの練習れんしゅうをする。



□ 避難訓練を行う。



助

さいがい
災害で

ひと
人を助ける
きゆうじょたい
救助隊



一 月 旦 助

□運ぶのを手伝ってくれて

助^{たす}かったよ。



□補助板を使い逆上がりの練習。



□先生せんせいから作文さくぶんの書き方かたを

助言じょげんしてもらおう。



童

童歌 | わらべうた

みんなで歌った児童集会



、
上
立音
帝
章
童

□ グリム童話を読む。



□ 学校がっこうが終おわったら学童がくどうに行いく。



□ 神童しんどうといわれた

おんがく | てんさい
音楽の天才モーツァルト。



練

こな
粉を練り

うどん作りの練習だ



みこしの行列が

町内を練り歩く。



笛の練習をする。



ひなんくん
避難訓練を行う。



助

さいがい
災害で

人を助ける救済隊



運ぶのを手伝ってくれて

助かったよ。



ほ
補助板を使い逆上りの練習。



先生から作文の書き方を

助言してもらう。



童

童歌

みんなで歌った児童集会



グリム童話を読む。



学校が終わったら児童に行く。



神童といわれた

音楽の天才モーツァルト。



申

夏のキャンプ

参加したくて申し込む



水泳教室の申し込みをする。



お礼申し上げます。

申し出ることを

申告という。

しんこくけいえん
申告敬遠

品

品質の良い品物が

揃ったお店



トランプが消える手品。



上品な京都の特産品。



店頭に並んだ商品を

手に取る。



商

色々な商品

商う商店街



売り買いを「商い」という。



うちの商売は魚屋だ。



近江商人は「三方よし」の

商いをした。



82

サイン

申

夏のキャンプ

さんか
参加したくて申し込む

□水泳教室の申し込みをする。



□お礼申し上げます。



□申し出ることを

こく
申告という。しん こく けい えん
申告敬遠

83

サイン

品

品質のよい品物が

そろ
揃ったお店

□トランプが消える手品。



□上品な京都の特産品。

□店頭^{なら}に並んだ商品を

手に取る。



84

サイン

商

色々な商品

商う商店街^{がい}

□売り買いを「商い」という。



□うちの商売は魚屋だ。

□近江商人^{おうみ}は「三方良し」の

商いをした。



客

旅客機に

観光客が乗り込んだ



、山少宀客客

□ 外国から来たお客様を
案内する。



□旅館りよかんの客室きやくしつに入るはい。



□ 来客を客間にお通しする。



銀

銀^{ぎん}でできた

お金かねが銀貨ぎんか



ノ人今今金金釦釦銀銀

□ 銀行にお金を預ける。



□ 銀^{ぎん}でできた首飾^{くびかざり}り。



□雪が積もって銀世界になる。



去

過ぎ去った

きよねん
去年のことを思い出す
おもだ



一十土去去

□ビデオの録画を
削除する。



□ その場|ば から立|た ち去|さ る。



□遠い過去のできごと。



85

客旅客機^きに観光客^{かん}が乗^{のり}り込^こんだ

サイン

□外国^あから来^きたお客様^{さん}を
案内^{あん}する。



□旅館^{りやう}の客室^{きつ}に入^いる。



□来客^{らい}を客間^{きかん}にお通^{とお}しする。



86

銀銀^{ぎん}でできたお金^{おか}が銀貨^{ぎんか}

サイン

□銀行^{ぎんこう}にお金^{おか}を預^{あず}ける。



□銀^{ぎん}でできた首飾^{かざり}り。



□雪^{ゆき}が積^つもって銀世界^{ぎんせい}になる。



87

去過^すぎ去^さった去年^{こぞ}のことを思^{おも}い出^だす

サイン

□ビデオの録画^{ろくわ}を
消去^{しょうきょ}する。



□その場^{そのば}から立^たち去^さる。



□遠^{とほ}い過^か去^このできごと。



倍

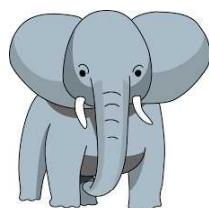
倍率ばいりつが五百倍ごひゃくばいの
顕微鏡けんびきよう



□ 五ごを十倍じゅうばいすると五十ごじゅうになる。

$$5 \times 10 = 50$$

□ 人間にんげんより何倍なんばいも力持ちからもちちの象ぞう。



□ 三さんの倍数ばいすうは三さん、六ろく、九きゅう、など。

3, 6, 9
12, 15...

筆

筆箱ふでばこの
鉛筆えんぴつけずってさあ勉強べんきょう



□ 毛筆もうひつで字じを書かく。



□ 筆者ひつしやが読者どくしやに伝つたえたいことを
考かんがえよう。



□ 筆記用具ひっきようぐを準備じゆんぴする。

**式**

式場しきじやうの飾りかざりを作つくって
入学式にゅうがくしき



□ 卒業式そつぎやうしきの呼よびかけ。



□ モンゴルの組くみ立たて式しきの家いえ。



□ 算数さんすうで習ならう式しきを
数式すうしきという。

$$5 \times 8 = 40$$

倍

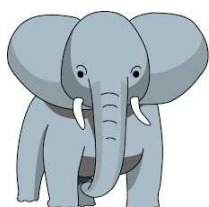
倍率^{りつ}が五百倍の
顕微鏡^{けんびきよう}



□五を十倍すると五十になる。

$$5 \times 10 = 50$$

□人間より何倍も力持ちの象^{ぞう}。

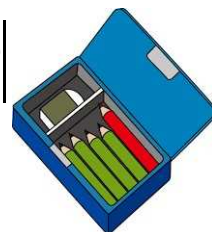


□三の倍数は三、六、九、など。

3, 6, 9
12, 15...

筆

筆箱の
鉛筆^{えんぴつ}けずってさあ勉強



□毛筆で字を書く。



□筆者^{つた}が読者に伝えたいことを
考えよう。



□筆記用具^{じゆんぴ}を準備する。



式

式場の飾^{かざ}りを作^{つく}って
入学式



□卒業^{そつ}式の呼^よびかけ。



□モンゴルの組み立て式の家。



□算数で習う式を
数式という。

$$5 \times 8 = 40$$

91

木々木々植植

植

植林は
しよくりん山に木を植えること
やまきう□ 田んぼで田植えをする。
たんぼでたうをうをする。□ 植木鉢に花の種を
うえきばちはなたね
まいた。□ 植物園を見学する。
しよくぶつえんけんがく

92

ハイハイ竹笹集

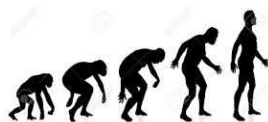
集

体育館に
たいいくかん全校集まり
ぜんこうあつ
音楽集会
おんがくしゅうかい□ みんなを集めて相談する。
みんなをあつめてそうだんする。□ 駅に集合して電車に乗る。
えきにしゅうごうしてでんしゃのる。□ 給食費の集金をする。
きゅうしょくひしゅうきん

93

ハイイ化

化

子どもに
こどもに化けて文化祭に
ばけくてぶんかさいに行くキツネ
いくきつね□ 大昔の生物の化石。
おおむかしせいぶつかせき□ 人間はサルから進化した。
にんげんはサルからしんかした。□ 気温の変化を
きおんへんかを
グラフに表す。
グラフにあらわす。

91

植

植林は

山に木を植えること



□田んぼで田植えをする。

□植木鉢に花の種を
まいた。

□植物園を見学する。



92

集

体育館に

全校集まり 音楽集会



□みんなを集めて相談する。



□駅に集合して電車に乗る。



□給食費の集金をする。



93

化

子どもに

化けて文化祭に

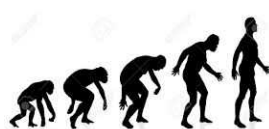
行くキツネ



□大昔の生物の化石。



□人間はサルから進化した。

□気温の変化を
グラフに表す。

死

愛犬が死んだ
悲しくて泣いた



大昔、恐竜は死に絶えた。



死人に口無し。



必死でゴールを守った。



都

昔は
京都に都があった



どんな所も住めば都。



東京や大阪は都会です。



家の都合で転校する。



死

愛犬^{あい}が死^しんだ悲^{かな}しくて泣^ないた□大昔^{きやうりゆう}、恐竜^{きやうりゆう}は死^しに絶^たえた。□死^し人^にに口^く無^なし。□必死^{ひっし}でゴールを^を守^{まも}った。

都

昔^{むかし}は京^{きやう}都^とに都^とが^があ^あった□ど^どんな^な所^{しよ}も住^すめ^めば都^と。□東^{とう}京^{きやう}や大^{だい}阪^{はん}は都^と会^{かい}です。□家^かの都^と合^がで転^{てん}校^{がう}する。

Ⅰ学期の漢字

たしかめ Ⅰ

5	4	3	2	1
登	着	習	葉	詩
八十歳でエベレストに登った登山家。	一着でゴールした。	木曜日に習字を習っている。	もみじの葉っぱが紅葉する。	国語の時間に詩を書く。

たしかめ Ⅱ

10	9	8	7	6
進	始	旅	持	物
にぎやかに進む音楽隊の行進。	これから朝の会を始めます。	旅に出て、大きな旅館に泊まった。	両方の手で荷物を持つ。	物語の登場人物。

たしかめ Ⅲ

15	14	13	12	11
館	面	様	深	動
本日は、図書館の休館日。	雨で地面が一面に水びたし。	国により生活の様子は様々だ。	深い海の底にいる深海魚。	のつそりと動く動物、ナマケモノ。

たしかめ Ⅳ

20	19	18	17	16
意	問	使	調	号
手を挙げて、自分の意見を言う。	難問だ。先生に問い、やっと分かった。	使用した紙を使ってリサイクル。	調査して、調べたことを記録する。	地図にはいろんな記号がある。

たしかめ 1

1	こくごのじかにしをかく。
2	もみじのはっぱが紅 <small>こう</small> ようする。
3	もくようびにしゅうじをならっている。
4	いつちやくでゴールした。
5	はちじつ歳 <small>さい</small> でエベレストにのぼったとざんか。

たしかめ 2

6	ものがたりのとうじょうじんぶつ。
7	両ほう <small>りやう</small> のてで荷 <small>に</small> もつをもつ。
8	たびにでて、おおきなりよ館 <small>かん</small> に泊 <small>と</small> まった。
9	これからあさのかいをはじめます。
10	にぎやかにすすむおんがく隊 <small>たい</small> のこうしん。

たしかめ 3

11	のっそりとうごくどうぶつ、ナマケモノ。
12	ふかいうみの底 <small>そこ</small> にいるしんかいぎよ。
13	くによりせいかつのようすはさまぎまだ。
14	あめでじめんがいちめんにもずびたし。
15	ほんじつは、としよかんのきゅうかんび。

たしかめ 4

16	ちずにはいろんなきごうがある。
17	ちよう査 <small>さ</small> して、しらべたことをき録 <small>ろく</small> する。
18	しようしたかみをつかってリサイクル。
19	難 <small>なん</small> もんだ。せんせいにとい、やっとわかった。
20	てを挙 <small>あ</small> げて、じぶんのいけんをいう。

たしかめ 5

25	24	23	22	21
温	由	漢	湖	味
温泉 <small>せん</small> に入 <small>い</small> って体 <small>てい</small> を温 <small>ぬ</small> める。	何 <small>なに</small> をしよう <small>しよう</small> と君 <small>きみ</small> の自由 <small>じゆう</small> だ。	漢 <small>かん</small> という国 <small>くに</small> の字 <small>じ</small> だから漢字 <small>かんじ</small> という。	日本 <small>にっぽん</small> で一番 <small>いちばん</small> 大きい湖 <small>うみ</small> は琵琶湖 <small>びわこ</small> 。	よく味 <small>あじ</small> わつて食 <small>く</small> べよう。

たしかめ 6

30	29	28	27	26
平	章	発	第	酒
平 <small>へい</small> らな紙 <small>し</small> に平 <small>へい</small> 行 <small>ぎょう</small> 線 <small>せん</small> を写 <small>か</small> く。	文 <small>ぶん</small> 章 <small>しょう</small> をよ <small>よ</small> く読 <small>よ</small> んで考 <small>かん</small> えよう。	さあ出 <small>で</small> 発 <small>はつ</small> 。発車 <small>はつしや</small> オーライ、遠足 <small>えんそく</small> だ。	作 <small>さく</small> 文 <small>ぶん</small> に題名 <small>だいめい</small> をつ <small>つ</small> ける。	日 <small>にっ</small> 本 <small>ぽん</small> 酒 <small>しゅ</small> は、米 <small>こめ</small> から造 <small>つく</small> るお酒 <small>しゅ</small> です。

たしかめ 7

35	34	33	32	31
洋	相	落	事	決
西 <small>せい</small> 洋 <small>りやう</small> 料 <small>りやう</small> 理 <small>り</small> を洋食 <small>りやうしょく</small> という。	困 <small>こま</small> ったな、相 <small>さう</small> 談 <small>だん</small> で <small>で</small> き <small>る</small> 相 <small>あ</small> 手 <small>て</small> が <small>が</small> い <small>い</small> ない。	岩 <small>い</small> が落 <small>お</small> 下 <small>くだ</small> 。落 <small>お</small> ちたところ <small>ところ</small> に穴 <small>あな</small> が <small>が</small> 開 <small>あ</small> く。	大 <small>だい</small> 事 <small>じ</small> な事 <small>こと</small> はよ <small>よ</small> く考 <small>かん</small> えて決 <small>けつ</small> めよう。	多 <small>た</small> 数 <small>すう</small> 決 <small>けつ</small> で決 <small>けつ</small> める。

たしかめ 8

40	39	38	37	36
有	県	所	次	服
有 <small>りやう</small> 料 <small>りやう</small> が無 <small>む</small> 料 <small>りやう</small> にな <small>な</small> って有 <small>あ</small> り難 <small>がた</small> い。	都 <small>と</small> 道 <small>どう</small> 府 <small>ふ</small> 県 <small>けん</small> の数 <small>かず</small> は全 <small>ぜん</small> 部 <small>ぶ</small> で四十七。	使 <small>つか</small> ったら元 <small>もと</small> の場 <small>ば</small> 所 <small>しょ</small> へ返 <small>かえ</small> すこと。	次 <small>つぎ</small> は何 <small>なに</small> ? それ <small>それ</small> は次 <small>つぎ</small> 回 <small>かい</small> のお楽 <small>がく</small> しみ。	よそ行 <small>い</small> きの服 <small>ふく</small> に着 <small>か</small> 替 <small>か</small> えて出 <small>で</small> か <small>か</small> ける。

たしかめ 5

25	24	23	22	21
おん泉 <small>せん</small> にはいつてからだをあたためる。	なにをしようと君 <small>きみ</small> のじゆうだ。	かんというくにのじだからかんじという。	にほんでいちばんおおきいみずうみは琵琶 <small>びわ</small> こ。	よくあじわってたべよう。

たしかめ 6

30	29	28	27	26
たいらなかみにへいこうせんをかく。	ぶんしょうをよくよんでかんがえよう。	さあしゅっぱつ。はっしやオーライ、えんそくだ。	さくぶんのだいめいをつける。	にほんしゅは、こめから造 <small>つく</small> るおさけです。

たしかめ 7

35	34	33	32	31
せいよう料 <small>りょう</small> りをようしよくという。	困 <small>こま</small> ったな、そう談 <small>だん</small> できるあいてがいない。	いわがらつか。おちたところに穴 <small>あな</small> が開 <small>あ</small> く。	だいじなことはよくかんがえてきめよう。	たすうけつできめる。

たしかめ 8

40	39	38	37	36
ゆう料 <small>りょう</small> が無料 <small>むりょう</small> になってあり難 <small>がた</small> い。	都 <small>と</small> どう府 <small>ふ</small> けんのかずは全部 <small>ぜんぶ</small> でよんじゅうなな。	つかったらもとのばしよへ返 <small>かえ</small> すこと。	つぎはなに？それはじかいのおたのしみ。	よそいきのふくにき替 <small>か</small> えてでかける。

たしかめ 9

45	44	43	42	41
球	仕	農	秒	氷
投げた球をバットで打つのが野球だ。	鳥の羽の仕組みを調べる。	米や野菜 <small>さい</small> を作る仕事 <small>しごと</small> が農業だ。	一分は六十秒です。	氷山は海に浮 <small>う</small> かんだ氷のかたまり。

たしかめ 10

50	49	48	47	46
昔	表	遊	全	局
今と昔の生活を比べる。	一年の気温 <small>へん</small> の変化を表に表す。	昼休み、友達 <small>だち</small> と遊具で遊んだ。	全力を尽 <small>つ</small> くしたが、全く歯が立たない。	薬局で薬を買う。

たしかめ 11

55	54	53	52	51
指	横	速	界	世
指揮 <small>き</small> をする人の指先をよく見て歌う。	横断 <small>だん</small> 歩道の横で待つ。	速い速度で車が走る高速道路。	世界地図で中国 <small>さか</small> を探す。	世の中の事を知らない世間知らず。

たしかめ 12

60	59	58	57	56
予	運	定	安	鉄
予習も大事だ。	荷物を運ぶ車の運転手。	ねらいを定め、安定した動作で弓を射 <small>い</small> る。	安らかな寝顔 <small>ね</small> を見て安心する。	鉄道の線路は鉄でできている。

たしかめ 9

45	44	43	42	41
投げた ^な たまを バットで 打つ ^う のが やきゆうだ。	とりの はねの しくみを しらべる。	こめや や菜 ^{さい} をつくる しご ^ご とが のう業 ^{ぎふ} だ。	いっふんは ろくじゆうびようです。	ひようざんは うみに 浮 ^う かんだ こおりの かたまり。

たしかめ 10

45	44	43	42	41
薬 ^や きよくで 薬 ^{くすり} を かう。	ぜんりよくを 尽 ^つ くしたが、まったく 歯 ^は が たたない。	ひるやすみ、とも達 ^{たち} と ゆう具 ^ぐ で あそんだ。	いちねんの きおんの 変化 ^{へんか} を ひように あらわす。	いまと むかしの せいかつを 比べ ^{くら} る。

たしかめ 11

55	54	53	52	51
し揮 ^き をする ひとの ゆびさきを よくみて うたう。	おう断 ^{だん} ほどの よこで 待 ^ま つ。	はやい そく度 ^ど で くるまが はしる こうそくどう路 ^ろ 。	せかいちずで ちゆうごくを 探 ^{さが} す。	よのなかの ことを しらない せけんしらず。

たしかめ 12

60	59	58	57	56
よしゆうも だいじだ。	荷 ^に もつを はこぶ くるまの うん転 ^{てん} しゆ。	ねらいを さだめ、あんていした どうさで ゆみを 射 ^い る。	やすらかな 寝 ^ね がおを みて あんしんする。	てつどうの せん路 ^ろ は てつで できている。

65	64	63	62	61
向	拾	具	住	送
この方向、進めば向こうの山に着く。	落とし物を拾って交番へ届けた。	明日は遠足、雨具の用意もする。	この家に住んでいる住人。	電気を送る送電線。

70	69	68	67	66
岸	開	緑	悲	坂
海岸の岩場で遊ぶ。	開花とは、花のつぼみが開くこと。	新緑の緑の葉っぱ、きれいだな。	悲しい悲劇の物語。	急な坂道を上っていく。

75	74	73	72	71
陽	区	対	感	路
地球は太陽の回りを回っている。	勉強に区切りをつけて遊ぶ。	意見が対立しても対話で解決。	物語を読んで感動した。	通学路を通って登校する。

80	79	78	77	76
助	練	泳	部	整
運ぶのを手伝ってくれて助かったよ。	粉を練り、うどん作りの練習だ。	水泳で得意な泳ぎは平泳ぎ。	左右二つの部分に分ける。	整理して、机の上が整った。

たしかめ

13

65	64	63	62	61
このほうこう、すすめばむこうのやまにつく。	おとしものをひろって　こうばんへ　届けた。 <small>とど</small>	あすはえんそく、あまぐのよういもする。	このいえにすんでいるじゅうにん。	でんきをおくる　そうでんせん。

たしかめ

14

70	69	68	67	66
かいがんのいわばで　あそぶ。	かいかとは、はなのつぼみがひらくこと。	しんりよくのみどりのはっぱ、きれいだな。	かなしいひ劇 <small>げき</small> のものがたり。	急 <small>きゆう</small> なさかみちをのぼっていく。

たしかめ

15

75	74	73	72	71
ちきゅうはたいようのまわりをまわっている。	勉強 <small>べん</small> ようにくぎりをつけてあそぶ。	いけんがたいりつしても　たいわで解 <small>かい</small> けつ。	ものがたりをよんで　かんだうした。	つうがくろをとおって　とうこうする。

たしかめ

16

80	79	78	77	76
はこぶのを　て伝 <small>つた</small> ててくれて　たすかったよ。	粉 <small>こな</small> をねり、うどんづくりのれんしゅうだ。	すいえいで　得 <small>とく</small> いな　およぎは　ひらおよぎ。	さゆう　ふたつの　ぶぶん　に　わける。	せいりして、机 <small>つくえ</small> の　うえが　ととのった。

85	84	83	82	81
客	商	品	申	童
来客を客間にお通しする。	色々な商品を商う商店街。	品質の良い品物が揃ったお店。	申し出ることを申告という。	童歌をみんなで歌った児童集会。

90	89	88	87	86
式	筆	倍	去	銀
式場の飾りを作って入学式。	筆箱の鉛筆をけずって勉強する。	人間より何倍も力持ちの象。	過ぎ去った去年のことを思い出す。	銀行にお金を預ける。

95	94	93	92	91
都	死	化	集	植
昔は京都に都があった。	愛犬が死んだ。悲しくて泣いた。	大昔の生物の化石。	体育館に全校が集まり、音楽集会。	植林は、山に木を植えること。

たしかめ

17

85	84	83	82	81
らいきやくをきやくまにおとおしする。	いろいろなしょうひんをあきなうしょうてん街。	ひん質の良しなものが揃ったおみせ。	もうしでることをしん告という。	わらべうたをみんなでうたった児どう集かい。

たしかめ

18

90	89	88	87	86
しきじょうの飾りをつくってにゆうがくしき。	ふで箱の鉛ぴつをけずって勉強しようする。	にんげんよりなんばいもちからもちの象。	過ぎさったきよねんのことをおもいだす。	ぎんこうにおかねを預ける。

たしかめ

19

95	94	93	92	91
むかしはきようとにみやこがあった。	愛けんがしんだ。かなしくて泣いた。	おおむかしのせいぶつのかせき。	たい育かんにぜんこうがあつまり、おんがくしゅうかい。	しよくりんは、やまにきをうえること。

3年生で習う漢字

1	詩	31	決	61	送	91	植	121	暗	151	央	181	宮
2	葉	32	事	62	住	92	集	122	橋	152	階	182	院
3	習	33	落	63	具	93	化	123	暑	153	委	183	礼
4	着	34	相	64	拾	94	死	124	寒	154	級	184	等
5	登	35	洋	65	向	95	都	125	軽	155	昭	185	反
6	物	36	服	66	坂	96	両	126	命	156	和	186	君
7	持	37	次	67	悲	97	負	127	第	157	駅	187	乗
8	旅	38	所	68	緑	98	係	128	返	158	皮	188	庭
9	始	39	県	69	開	99	員	129	主	159	皿	189	研
10	進	40	有	70	岸	100	祭	130	州	160	短	190	究
11	動	41	氷	71	路	101	業	131	屋	161	息	191	打
12	深	42	秒	72	感	102	板	132	根	162	美	192	受
13	様	43	農	73	対	103	柱	133	荷	163	転	193	島
14	面	44	仕	74	区	104	油	134	守	164	病	194	追
15	館	45	球	75	陽	105	港	135	役	165	医	195	実
16	号	46	局	76	整	106	薬	136	豆	166	飲	196	神
17	調	47	全	77	部	107	笛	137	育	167	重	197	箱
18	使	48	遊	78	泳	108	者	138	消	168	配	198	湯
19	問	49	表	79	練	109	注	139	取	169	度	199	他
20	意	50	昔	80	助	110	悪	140	期	170	幸	200	身
21	味	51	世	81	童	111	勝	141	畑	171	流		
22	湖	52	界	82	申	112	庫	142	終	172	族		
23	漢	53	速	83	品	113	波	143	福	173	帳		
24	由	54	横	84	商	114	放	144	急	174	代		
25	温	55	指	85	客	115	勉	145	起	175	曲		
26	酒	56	鉄	86	銀	116	想	146	苦	176	投		
27	題	57	安	87	去	117	写	147	待	177	炭		
28	発	58	定	88	倍	118	真	148	談	178	羊		
29	章	59	運	89	筆	119	列	149	鼻	179	宿		
30	平	60	予	90	式	120	血	150	歯	180	丁		